仕様書

1.品　　目：リアルタイム培養細胞蛍光観察装置のリース

2.数　　量：1式

3.使用目的：ほ乳動物細胞（マウス受精卵を含む）を長期間安定して培養しながら生きた状態で形態観察並びに蛍光観察を行うため。

4.賃貸借期間：　平成２７年１０月１日～平成２９年９月３０日（２４か月）

5．借入場所：千葉市稲毛区穴川 4-9-1
国立研究開発法人　放射線医学総合研究所
実験動物研究棟２階（C202）

6.構成内訳
1）リアルタイム培養細胞観察システム　本体　　1台
2）制御用 PC　　1台

7.構造及び規格、性能又は特徴
1）１８０㎝（横幅）×７５㎝（奥行き）の実験台上に設置できること。
2）明視野及び蛍光での形態観察時の光源は LED であること。
なお、蛍光観察は緑色蛍光（GFP など）と赤色蛍光（RFP など）で行うため、これら二波長で撮影できること。
3）（マウス）受精卵を４－５日間程度は培養することができる機能を持つこと。
4）対物レンズは１０倍を標準として、その他に４倍と２０倍での撮影もできる機能を有すこと。
5）培養中にリアルタイムで、明視野での形態観察及び LED 光源を用いた蛍光観察ができる制御装置（専用パソコンや制御ソフト）を有すこと。
6）35㎜の培養皿が複数枚設置することができ、それぞれの培養皿中の細胞や受精卵の位置情報（座標）を記録して、任意の時間や間隔で自動的に記録した座標で撮影できる機能を有すこと。
なお、座標の設定や移動はジョイスティックなどのような構造を有すコントローラーで外部から制御できること。
7）蛍光シグナルを撮影できる冷却モノクロ CCD カメラを搭載すること。

8.その他　　搬入、据付、配線、調整、保守等について
1）搬入、据付、配線等については、納入業者の責により行うこと。
2）設置後、機器の性能が完全に発揮できるよう調整、検査を行うこと。
3）設置にあたっては、本研究所担当者の指示に従うこと。
4）設置後、本研究所職員に対し、装置の仕様に係る教育を行うこと。
5）日本国内において、技術的相談に速やかに応じられる等、技術支援体制が整備されていること

6）障害が発生した場合に、速やかに障害への対応を開始できるよう、保守体制が取られていること。特に設置後１年間は保証の範囲内での修理対応などを行うこと。

7）取扱説明書を１部提出すること。

8）本仕様書の内容について疑義が生じた場合、また、本仕様書に規定のない事項については、別途担当者と協議の上、決定するものとする。

9.検査

搬入作業完了後、当研究職員が所定の要件を満たし、作業完了報告及び調整の確認したことをもって検査合格とする。

所属部課名:研究基盤センター　生物研究推進課

使用者名：　　塚本　智史